

[補足資料]

ENEOSホールディングス 2022年3月期通期連結業績予想の修正

業績見通しサマリー

2021年度 通期見通し

	11月公表	今回見通し	前回公表比	増減率
営業利益	4,700 億円	→ 7,400 億円	+ 2,700 億円	+57%
<u>在庫影響</u>	1,600 億円	→ 3,300 億円	+ 1,700 億円	
在庫影響除き 営業利益	3,100 億円	→ 4,100 億円	+ 1,000 億円	
親会社所有者帰属 当期利益	2,800 億円	→ 4,900 億円	+ 2,100 億円	+75%

営業利益

- 原油価格の上昇による在庫影響*を
主な要因として、通期の見通しを
大幅に上方修正 (+2,700億円)

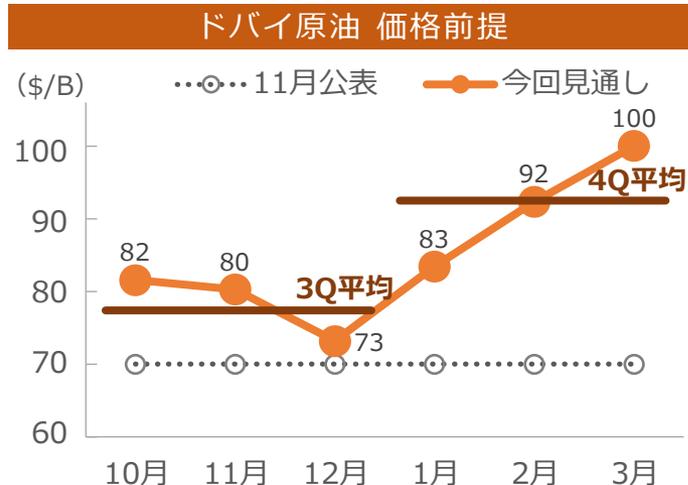
*) 総平均法による棚卸資産の評価が売上原価に与える影響

在庫影響除き営業利益 (+1,000億円の主な要因)

- エネルギー： 資源価格上昇に伴う白油・輸出マージンの
プラスのタイムラグ ほか
- 石油・天然ガス開発： 資源価格上昇 ほか
- 金属： 資源価格上昇、薄膜材料増益 ほか

【下期】 諸元	ドバイ原油 (\$/B)	銅 (LME) (¢/lb)	為替レート (¥/\$)
11月公表	70	407	110
今回見通し	85 (100)	442 (440)	114 (115)

()内は3月単月



諸元・損益概要

		11月公表		今回見通し		差異	
■ 諸元		下期		下期		下期	
トバイ原油	(\$/B)	70	70	85	77	+15	+7
銅 (LME)	(¢/lb)	407	420	442	438	+35	+18
為替レート	(¥/\$)	110	110	114	112	+4	+2

■ 損益概要

売上高	(億円)	103,000	108,000	+5,000
営業利益	(億円)	4,700	7,400	+2,700
在庫影響	(億円)	1,600	3,300	+1,700
在庫影響除き営業利益	(億円)	3,100	4,100	+1,000
金融損益	(億円)	▲200	▲200	—
税引前利益	(億円)	4,500	7,200	+2,700
親会社の所有者に帰属する 当期利益	(億円)	2,800	4,900	+2,100

セグメント別営業損益

	11月公表	今回見通し	差異
(億円)			
営業利益 計	4,700	7,400	+2,700
在庫影響除き営業利益 計	3,100	4,100	+1,000

■ セグメント別営業損益

セグメント別内訳	エネルギー事業	2,350	4,500	+2,150
	在庫影響	1,600	3,300	+1,700
	在庫影響除き営業利益	750	1,200	+450
	石油・天然ガス開発事業	750	900	+150
	金属事業	1,100	1,500	+400
	その他	500	500	±0

[主な増減要因]

■ エネルギー

- ・和歌山製油所の一時費用
- ・白油・輸出マージンのプラスのタイムラグ
- ・資産売却益

■ 石油・天然ガス開発

- ・資源価格の上昇
- ・英国事業の売却関連益

■ 金属

- ・資源価格の上昇
- ・薄膜材料等の増益
- ・コスト減